

とうもろこしの成分をくらしを支える素材へ

しょくひんげんりょう

せいぞう

食品原料の製造オペレーター

とうもろこしから「でんぷん」や「糖」などの素材を作っています。工場の機械は自動で動きますが、異常に対応するため常に見守っています。できた素材は、飲みものやパン、おせんべいなどの食べ物から、ソースなどの調味料、動物のえさ、紙やダンボールの材料まで、はば広く使われています。そのままの形で目にすることは少ないですが、いろいろな製品にすがたを変えて、皆さんのくらしの中で役立っています。



この仕事に
ついた
きっかけ

高校で、機械を自動で動かすしくみを勉強して、おもしろそうだなと思いました。いろいろなものの原料となる素材づくりに関わることができ、社会に役立つ仕事だと思ったので、この仕事につきました。

しょくひんげんりょう

せいぞう

食品原料の製造オペレーターってどんなお仕事をしているの？

工場の中の機械を見回る



機械にトラブルがないか工場の中を見回ります。機械のゆれや、いつもとちがう音がないかを確認、小さな変化も見のがさないように注意しています。

ボイラーと排水を管理



電気を作るボイラーや、よごれた水をきれいにする設備を動かします。煙突から出る蒸気の様子や水の数値をいつもかくにん確認して、工場のまわりの環境をきれいに保っています。

モニターを確認する



それぞれの機械の様子を、モニターで確認しています。ふだんは自動で動いていますが、機械を止めるタイミングなどは、自分たちで考えて操作します。

サンプルをとって調べる



作っている素材が決められた品質に合っているかをくわしく調べます。もし合っていないければ、作り方を細かく調整して、品質に合うようにします。

こんな人も
働いています！

- 総務 ■ 設備の保全 ■ 品質管理 ■ 製品の保管と出荷 ■ エネルギー管理者
- 電気主任技術者 ■ ボイラー・タービン主任技術者 ■ 公害防止管理者（大気・水質）
- 医薬品製造管理者 など

この会社に教えてもらったよ！

素材の提供を通じて、世の中にある様々な「Well-being」に貢献する
日本食品化工株式会社

水島工場：倉敷市児島塩生2767-25 TEL/086-475-1010

東京本社：東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー12階

創業/1948年7月 従業員数/452名（2026年3月現在）

拠点/富士本社（静岡県）、大阪営業所（大阪府）、福岡営業所（福岡県）



多様なWell-beingのために

日本食品化工



にほんしょくひん か こうかぶしきがいは

日本食品化工株式会社はこんな仕事をしています

原材料や燃料を集める

製品を作るために必要な材料を集めます。原料となるとうもろこしや燃料など、いろいろな材料が不足しないように常に管理しています。



製品をとどける

工場で作った製品を、お客様の元へと届けます。倉庫にどれだけの製品があるかいつも確かめながら、数をきちんと管理しています。



機械を直す・作る

工場にある機械が安全に動くように直したり、新しく作ったりしています。急にこわれても対応できるように準備し、点検の計画づくりもします。



工場を技術で支える

工場が安全に動くよう、技術の面から支えています。むだなく機械が動くように計画したり、工場から出たごみや水の処理の仕方などを考えたりします。



CHECK!

「でんぷん・水あめのひみつ」を子供たちに

教育支援活動の一つとして、でんぷんや水あめがどうやって作られるのか、作られたでんぷんや水あめがどんなものに使われるのかをマンガで学べる「でんぷん・水あめのひみつ」を作りました。この本は全国の小学校や図書館に贈られ、子供たちが科学や仕事にふれるきっかけとして役立てられています。



とうもろこしが“素材”に変わっていく様子を学研まんがでよくわかるシリーズでくわしく紹介！この二次元コードから無料で読めます。

